

# 村のがまだしモン<sup>No.20</sup>

本村で活動している  
「※地域おこし協力隊」のメンバーをご紹介します。

※人口減や高齢化が進む地方で、都市部の人材の定住・定着を促し活性化を図る目的で、2009年度に創設。任期は最長3年で、年間の報酬と活動経費は、国から支給される。



つちや けんじ  
土屋 研二さん



なかにし みゆき  
中西 美由紀さん

## 自己紹介をお願いします。

名古屋市から来ました。元舞台俳優で、全国旅公演をしたり、帝国劇場や博多座の舞台にも出演していました。介護の資格もっていて大工の経験もあります。

山口県下関から来ました。以前は、ハウスメーカー勤務、バスガイド、災害ボランティアもしていました。南阿蘇村には、バスガイド勤務時によく来た記憶もあります。熊本地震後は、災害ボランティアでも来ました。村に縁があります。

## 南阿蘇村地域おこし協力隊に応募された理由は。

募集内容に移住定住促進プロジェクトがあり今まで培ってきた経験を活かせると思ったこと、また、南阿蘇の景観も好きで移住希望もあり応募しました。

以前ハウスメーカーに勤めており、アフターフォローなどの活動もしていたため、今回の移住定住支援に役立つのではと思い応募しました。



南GO!! Station  
(庁舎西側)

## 仕事内容を教えてください。

令和2年5月より開設された「南GO!!ステーション」にて空き家空き地バンク業務や空き家の発掘であったり、移住定住交流会の開催等の業務に携わっています。

## 南阿蘇村の住み心地はどうか、活動を通じて、どのような村にしたいですか。

現在、河陽の築80年の畑付き古民家に住んでおり、ご近所さんにもお手伝い頂きながら、初農業にも挑戦しております。村民の温かさ、また南阿蘇の良い環境を感じながら家族(妻・息子)と楽しく過ごしております。現業務で新たに移住して頂く方に、南阿蘇村の良い所などをお伝えしながら定住者増に今後も誠心誠意取り組んでいくとともに、仕事以外でも自分自身の経験を活かし、南阿蘇村の活性化に尽力して参ります。

現在、河陽の喜多地区に住んでいます。農家のお手伝いに行ったり、地域の伝統継承“しめ縄作り”をご指導頂いたりもしました。農業をしたい意向もあり、現在の仕事もしながら初農業にも挑戦したいです。その中でシェア畑を開発したり、農業の新しい取組みを地元の方と話をしながら進めていければと思っています。

今後、移住者へのサポートまたアフターフォローにも誠意をもって取り組み、また農業を通じて移住者と一緒に基幹産業の活性化を目指します。

取材者 今村 輝宏 委員

## 編集後記

熊本県南地域で、甚大な豪雨災害が発生しました。被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。本村も平成24年7月に九州北部豪雨、平成28年4月には熊本地震を経験しました。この時のご支援を思い出し、行政・議会・村民がそれぞれの立場で恩返しが出来ればと考えています。一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

また日頃より、議会広報誌「すいげん」をお読み頂き、ありがとうございます。村政の今と議会の議論内容を村民の皆様にお届けしたいと、先輩議員が発刊した弊誌も創刊から12年、今回で50号を迎えました。私も議員1期目から編集作業に携わり、今年で7年が過ぎました。複雑な予算内容や分かりにくい議会用語を出来るだけかみ砕きながら、正確さを第一に取り組んで参りましたが、我々の任期も早いもので、残り半年余りとなりました。最後まで初心を忘れず、村民の皆様から手に取って頂ける議会広報誌づくりに精進して参ります。

太田 吉浩

## 議会広報特別委員会

委員長 丸野健一郎  
副委員長 太田 吉浩  
委員 笠野 真喜  
// 今村 竜喜  
// 栃原 辰郎  
// 今村 輝宏

## 発行責任者

議長 荒牧 俊一